

平成23年度局配分枠予算について

保健福祉局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

保健福祉局では、少子高齢化、低経済成長と厳しい京都市財政状況の中、市民のいのちと暮らし、安心・安全を支える施策を持続的に実施していくため、昨年度に引き続き事務事業の見直しを行いつつ、新規・充実事業については、主に以下の4つの観点から新たに必要となる事業を検討したうえで、国補助金や京都府の基金等を最大限に活用するなど、費用対効果が極力高いものとなるよう精査しました。

- ①すべての市民の「いのち」を守る
- ②個人の「尊厳」の維持・回復を図る
- ③次代を担う子どもたちを「はぐくむ」
- ④地域の「絆」を再生し参加型福祉の構築を目指す

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

子育てサロン等運営アドバイザー派遣等支援事業	1,200千円
「子どもを共に育む京都市民憲章の実践の推進に関する条例」の推進	3,000千円
精神障害者地域移行支援事業	9,500千円

<充実事業>

子ども手当（3歳未満を増額）	全体事業費 30,385,330千円（うち充実分 2,784,552千円）
予防接種（子宮頸がん予防接種，ヒブ予防接種，小児肺炎球菌予防接種の実施）	全体事業費 3,893,753千円（うち充実分 2,184,000千円）
在宅心身障害児（者）療育支援事業	全体事業費 22,106千円（うち充実分 8,500千円）
ホームレス自立支援等の推進	全体事業費 37,466千円（うち充実分 27,000千円）
たばこ対策推進事業	全体事業費 8,467千円（うち充実分 5,600千円）